

平成23年5月18日

各位

上場会社名 株式会社 スーパー大栄
代表者 代表取締役社長 中山 勝彦
(コード番号 9819)
問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 阪本 博美
(TEL 093-602-2770)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成22年5月18日に公表した平成23年3月期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,300	△20	△60	△100	△14.40
今回修正予想(B)	27,270	△46	△84	△147	△21.03
増減額(B-A)	△2,029	△26	△24	△47	
増減率(%)	△6.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	28,779	158	123	△331	△47.49

修正の理由

平成23年3月期において、当社では消費者の低価格志向に対応するため、ディスカウントストアのサンディ事業部を新設し、既存のSM店舗2店舗をサンディ店舗へ業態変更いたしました。さらに、鮮ど市場事業部では既存のSM店舗稲築店を鮮ど市場稲築店に業態変更し売上倍増を図りました。
また、組織体系を見直し営業力の強化を図るとともに、継続的な経費削減に取り組みローコスト経営を定着させてまいりました。
しかしながら、昨年の夏、記録的な猛暑の影響で農作物が大幅な不作となり入荷量が激減した事や、鮮魚部門においては、海水温の温暖化で海の生態系が変わり漁獲量が大幅に減るなど、青果、鮮魚とも異常な品不足と価格高騰の影響で、生鮮比率の高い鮮ど市場は大打撃を受けました。また、利益面に関しても、業態変更に係る開店費用や不採算店舗の閉鎖に伴う固定資産除却損などを一挙に処理いたしましたので、平成23年3月期通期の業績は前回予想を大幅に下回る事となりました。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上